
廣告主部門

新聞広告大賞



京都新聞



熊本日日新聞



琉球新報



福島民友



読売新聞 (東京)



南日本新聞



徳島新聞

- 掲載状況——2020年10月18日から2021年3月28日まで、22種類の広告を延べ22紙に掲載 / 全15段、カラー
 ※掲載一覧 (同日の掲載紙の並びは日本新聞協会会員名簿順)
 2020年10月18日: 千葉日報
 10月25日: 北國新聞
 11月1日: 神奈川新聞、北日本新聞
 11月8日: 山陽新聞、西日本新聞
 11月15日: 神戸新聞
 11月29日: 読売新聞 (大阪)、北海道新聞、河北新報、信濃毎日新聞、新潟日報
 12月13日: 奈良新聞、宮崎日日新聞
 2021年2月14日: 愛媛新聞
 2月21日: 京都新聞、熊本日日新聞、琉球新報
 2月28日: 福島民友
 3月7日: 読売新聞 (東京)、南日本新聞
 3月28日: 徳島新聞

- 広告活動——ホームページ
 ●企画——博報堂
 ●制作——博報堂、博報堂プロダクツ、アドソルト
 ●扱い——博報堂 DY メディアパートナーズ
 ●制作スタッフ——CD= 福井健史、AD= 天島カルナ、C= 西出社宏、D= 横島淳、Ph= 長野柗太郎 (撮影)、小柴託夢 (レタッチ)、Pro= 水澤覚之介 (撮影)、小川亮輔 (レタッチ)、営業 = 首藤大輔、秋山祥子、小林伊万里

●企画の概要と選定理由
 新型コロナウイルスの感染拡大により、中止・延期となった市民マラソン大会の関係者や、走ることができなくなったランナーを励ますため、全国の22紙に新聞広告を掲載した。ランナー視線での各大会のコース写真と、開催を待ち望むランナーの気持ちを表したコピー、各大会記念Tシャツによるグラフィックは、多くの人々の共感を得た。SNS上でも話題となり、全国各地の営業拠点と大会主催者の自治体、関係者、ランナーとの絆が深まるなど、新聞広告が持つ地域性とメッセージ性、拡散力を生かした広告活動として高く評価された。

受賞のことば

第一生命保険株式会社
 取締役常務執行役員

瓜生 宗大 氏



このたびは栄えある新聞広告大賞を賜り、大変光栄に存じます。

今回、大賞を賜った「42.195kmの自粛の先へ。」の広告は、当社が「Run with You」プロジェクトとして2020年度に協賛を予定していたマラソン大会の開催地域の地方紙を中心に全国22紙に掲載いたしました。各大会のコースの魅力を写真で伝えるとともに、新型コロナウイルス感染拡大による「自粛」の期間を、次に向けた準備期間と捉え前に向かうメッセージを伝えています。

当社は、1902年の創業以来、生命保険事業を通じて、安心をお届けしてきました。人生100年時代を迎え、一人ひとりの価値観が多様化する今、わたしたちは「安心の先にある幸せへ。」をビジョンに掲げ、生命保険の枠を超えて、お客さまのQOL (Quality of Life) 向上に貢献していきたいと考えています。2015年に開始した「Run with You」は誰もが参加でき、身近な健康促進スポーツである「市民マラソン」の支援を通じて、健やかな生活をサポートするプロジェクトです。また、地域の特徴あふれたマラソン大会は、全国のランナーの方に各地域の良さを知っていただく機会でもと考えています。

しかし、この環境下、多くのマラソン大会が中止や延期を余儀なくされました。そこで、走ることができなくなったランナーの皆さまや大会を支えている関係者の皆さまを、少しでも勇気づけたいという想いを込めて今回の新聞広告を制作いたしました。一人ひとりが思い思いに走ることができる日が一日でも早く訪れることを切に願っております。

今回の広告をご覧になった各地域の方々や大会関係者の方々から、共感や感謝のお声を多く頂戴しました。また、マラソン大会の運営には多くの新聞社各社さまが携わっており、今回の新聞広告の製作に際しましても多大なるご協力をいただきましたことを深く感謝申し上げます。

最後となりますが、日本新聞協会さまと新聞広告賞のますますのご発展を祈念し、受賞のことばとさせていただきます。